

子どもの貧困とグローバル教育

日時

2013年10月31日(木) 17:50～20:00

場所

宇都宮大学峰キャンパス 大学会館2階 多目的ホール

*** 参加費無料:どなたでもご参加いただけます。**

17:50～ 始めにー開会挨拶ー

17:55～ 主旨説明 重田 康博(国際学部附属多文化公共圏センター副センター長、国際学部教授)

18:00～ 学生による体験発表 「アジアの貧困ー輝く笑顔の光と影ー」

フィリピン、カンボジア、バングラデシュでの体験より

発表者：宇都宮大学国際学部学生

18:20～ 基調講演 「グローバル時代における子どもの貧困と権利」

甲斐田 万智子

(文京学院大学准教授、認定NPO法人国際子ども権利センター代表理事)

19:00～ パネルディスカッション 「子どもの貧困とグローバル教育」(仮)

パネリスト：吉野 裕之(福島市在住、子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク)

甲斐田 万智子

(文京学院大学准教授、認定NPO法人国際子ども権利センター代表理事)

宇都宮大学国際学部学生

コメンテーター：陣内 雄次(宇都宮大学教育学部教授)

司 会：重田 康博(国際学部附属多文化公共圏センター副センター長、国際学部教授)

19:55～ 終わりにー閉会挨拶ー

主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター、宇都宮大学HANDSプロジェクト*1

後援：宇都宮市、宇都宮市教育委員会、NPO法人宇都宮市国際交流協会、(公財)栃木県国際交流協会

協力：NPO法人開発教育協会、まちなか・せかいネット-とちぎ海外協力NGOセンター、カケハシーズ、リソース・ネットワーク(申請中)

*1 平成25年度文部科学省特別経費プロジェクト 北関東を対象とした外国人児童生徒支援のための地域連携事業 (通称 宇都宮大学HANDSプロジェクト)

講演者及びパネリスト紹介



甲斐田 万智子 文京学院大学准教授、認定NPO法人国際子ども権利センター代表理事
1992年からインドに4年間滞在。児童労働問題にかかわる。1996年に国際子ども権利センター（C-Rightsシーライツ）に入職。2003年からカンボジアに4年滞在し、子どもの人身売買、性的搾取、児童労働をなくす活動に携わる。2007年からシーライツ代表理事。タイ滞在後2010年8月に帰国。2012年から文京学院大学教員。共著『開発教育 持続可能な世界のために』学文社、共著『国際協力のレッスン：地域市民の国際協力論入門』学陽書房、共著『児童労働撤廃に向けて—今、私たちにできること—』アジア経済研究所』など。

吉野 裕之 福島市在住、子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク

保護者が作った同団体に所属。主に保養プログラム拡充をテーマに活動。子ども支援の立場から得た情報の内外への発信なども行っている。原発事故子ども・被災者支援法市民会議在住者支援班。妻と娘は京都市に避難中。

発表・パネリスト学生紹介

庄司 萌 国際学部国際社会学科3年

国際協力サークルKAKEHASEEDs元代表として、フェアトレード商品の販売や国際協力の啓発活動を行ってきた。2012年8月から半年間バングラデシュに留学経験あり。現在、バングラデシュのストリートチルドレンに関するイベントを企画中。

城田 美好 国際学部国際社会学科3年

現在、ストリートチルドレンの研究に打ち込んでおり、フィリピン、メキシコのストリートチルドレン、更には日本という先進国における隠れストリートチルドレンの研究中。

滝川 由佳 国際学部国際社会学科2年

世界の子どもたち、特にカンボジアの子どもたちの初等教育に関心があり、今年の春期休業中にカンボジアの孤児院を訪問。孤児院や街中の子どもたちに直接会ってきた。

鶴元 和美 国際学部国際社会学科4年

フィリピンを2度訪問し、現地のチャイルドケアセンター等で活動。卒論テーマ『フィリピン 教育分野の現状と課題—同 等性教育プログラムの導入を目指して—』

豊田 祥子 国際学部国際社会学科2年

東南アジア、特にカンボジアに興味があり、実際に大学1年生の夏にカンボジアベトナムヘスタディーツアーに行ってきました。エイズ村、孤児院、小学校にボランティアとして訪問してきました。

コメンテーター紹介

陣内 雄次 宇都宮大学教育学部教授

宇都宮大学教育学部教授。専門分野は、住居学、まちづくり、NPO論など。大学では、「住宅政策論」「地域居住論」などを担当。NPO法人宇都宮まちづくり市民工房理事長。著書に『地方都市の再生戦略』（学芸出版社、2013年、共著）など。

コーディネーター紹介

重田 康博 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター副センター長、国際学部教授

国際協力NGO研究、グローバル・ガバナンス研究、国際協力研究に関わる。現在福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト代表。著書に『NGOの発展の軌跡』（明石書店、2005年）、「第4章ミレニアム開発目標」田中治彦編著『開発教育』（学文社、2008年）他。

■ 会場アクセス

宇都宮大学峰キャンパス
〒321-8505 宇都宮市峰町350

■ お問い合わせ

宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター
TEL/FAX : 028-649-5228
E-mail : tabunka-c@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

